

## 倫理 研究課題 <西洋02>

教科書：p      ～      資料集：p      ～      ノート：p      ～

### ●ルターの宗教改革（16c・ドイツ）

カトリック教会の腐敗 →大聖堂の改築資金を集めるため贖宥状（免罪符）を販売  
1517年「95ヶ条の論題」を発表して、教会を批判。

教皇から破門されても、改革を推進（→プロテスタント教会（ルター派）の成立へ）

名著『キリスト者の自由』 冒頭→人間の理想的な生き方を端的に表現

キリスト者＝	{	すべての者の上に立つ自由な主人であって、何者にも従属しない
	{	すべての者に奉仕する下僕であって、何者にも従属する

#### ①信仰義認論（←パウロ）

人が義とされるのは、信仰によるのであって、教会の説く「善行」によってではない。

#### ②聖書中心主義

聖書を読むことによって神と向き合うことができる。∴聖書に根拠のない儀式は廃止する。

∴聖書のドイツ語訳に取り組んだ →グーテンベルクの印刷術によって民衆に普及。

#### ③万人司祭主義

聖書があれば教会（司祭）は不要。万人が司祭と同様に神と向き合える。

∴司祭は神聖な職業ではなくなる。（→庶民の世俗の職業こそ神聖である）

#### ④職業召命観

職業＝①神から召し出され与えられた使命（∴職業＝天職、calling）、②隣人愛の実践。

※エラスムスとの自由意志論争

{	エラスムス：人間には自由意志がある。
	ルター：人間には自由意志はない。（人は神の恩寵によってのみ生きる）

★「人が義とされるのは信仰によるのであって教会の説く善行によってではない」とは？

.....  
.....

★ルターの思想のどの点に「脱呪術化」を見いだすことができるだろう？

.....  
.....